



まきた 牧田っ子 NO18

がっこうきょういくもくひょう 学校教育目標

ひととふれあい、ともに学び
ひびき合う子の育成

<http://www.edu.city.suzuka.mie.jp/maki-e/>

TEL 378-0516 FAX 378-9530

ぎょうじむひつつかんせんよぼうけんこうかんり 行事に向けて、引き続き、感染予防と健康管理をしっかりと！

はやいもので、二学期も二か月が終わろうとしています。後半は、6年生の修学旅行、5年生の自然教室、牧田万博と大きな行事を控えています。いずれの行事も“三つの密”を避けて、感染予防対策に努めながら進めて参ります。一日の中で、気温差があり、空気も乾燥してきています。大きな行事を前に、風邪をひかぬよう、健康管理に努めてください！なお、風邪症状がある場合は、無理をせず早めに休んでいただき、休日の外出なども控えて、体調を整えてください。

また、これからの季節、インフルエンザの流行も心配です。引き続き、日々の生活において、次の三点について取り組んでいただきますようお願いいたします。

1. 飛沫防止のためのマスクを着用する。
2. 丁寧な手洗いをこまめに行う。
3. 集団感染が起りやすい、換気が悪く、人が密に集まるような場所に行くことを控える

— 各行事における感染予防対策 —

<修学旅行>

- ・当日の朝は、検温等による健康チェックを行い、体調が悪い場合は参加を見送らせる。
- ・旅行中は、検温等による健康チェックを適宜行う。
- ・旅行中は、原則マスクを着用し、旅館等ではこまめに手洗いをを行う。
- ・密接・密集を避けるため、バス3台に分乗し移動する。(昨年の社会見学では2台)
- ・車内は使用前に消毒を施すとともに、5分以内に外気との換気が完了するシステムをとっている。



- ・車内には消毒液を設置しており、乗車の際には、アルコール消毒液で消毒する
- ・ホテル及び昼食の食堂では、1席ごとに空席を設け、対面する配置としない。
- ・お風呂場の脱衣所は、ロッカーの数を従来の半数に制限し、密集を避ける。
- ・体調不良者を搬送するための車両を一台準備する。
- ・旅行中に発熱した場合は、保護者等に迎えに来てもらうことに同意を得ている。



<自然教室>

- ・当日の朝は、検温等による健康チェックを行い、体調が悪い場合は無理に参加させない。

- ・自然教室中は、原則マスクを着用し、青少年センターではこまめに手洗いを行う。
- ・宿泊せず、日帰りでの計画とする。
- ・中止せざるを得ない場合を考え、バスは使わず、徒歩で移動する。
- ・昼食の食堂では、1席ごとに空席を設け、対面することがないように配置する。
- ・焼杉体験の実習では、座席の間隔を取り、マスクを着用して作業を行う。
- ・体調不良者を搬送するための車両を一台準備する。

＜牧田万博＞

- ・三密を避けるため、来賓及び保護者の皆様の参観を中止する。
- ・各学年の発表場所を、従来の2カ所から3カ所に変更し、密集・密接を避ける。
- ・1年生の発表は、予め撮った動画で発表し、密集・密接を避ける。
- ・1ステージを従来の15分から10分とし、発表の時間を短くする。
- ・見学の移動では、教師が引率し、密集・密接を避ける。

3年生、ドッジボールで盛り上がる！



先週の台風ウィークとは打って変わり、快晴となった10/12(月)の1限目、運動場から楽し気な声が聞こえてきました。

3年生の体育で、ドッジボールの授業でした。二つのコートに分かれてのゲーム、思うようにボールを投げられない子やボールをキャッチできない子もいましたが、相手の

ボールにあたらぬよう、うまくコートの中を動いてボールをつかむチャンスをうかがっていました。一つのボールにみんなで集中し、集団で運動を楽しむ姿がありました。これをきっかけに、業間や昼休みにみんなでドッジボールに取り組みるといいですね。

第4回学校運営協議会を開催しました。

10/13(火)、第4回学校運営協議会を開催し、校区内の危険箇所と学力向上について、協議いただきました。

＜校区内の危険箇所について＞

- ・交差点で信号待ちをする児童が、車道に接近し過ぎて心配である。⇒ 全体指導とともに、現場での個々への指導を行う。
- ・迂回する車が多い農道の交差点が危険 ⇒ 地域でストップシールを準備し、安全啓発を図る。学校前の細い道路を、登校時間帯だけでも車輛通行規制できないか検討する。
- ・竹野方面で通学路違反が多い ⇒ 対象児童を集めて、一斉指導を行う。

＜学力向上の取組について＞

- ・二学期より基本的な計算を確実に習得できるよう、授業の課題が終わった“すきまの時間”に、基本問題のプリントに取り組みさせている。一方、発展的な問題に挑戦を試みる児童には、発展問題のチャレンジプリントに取り組みさせる。